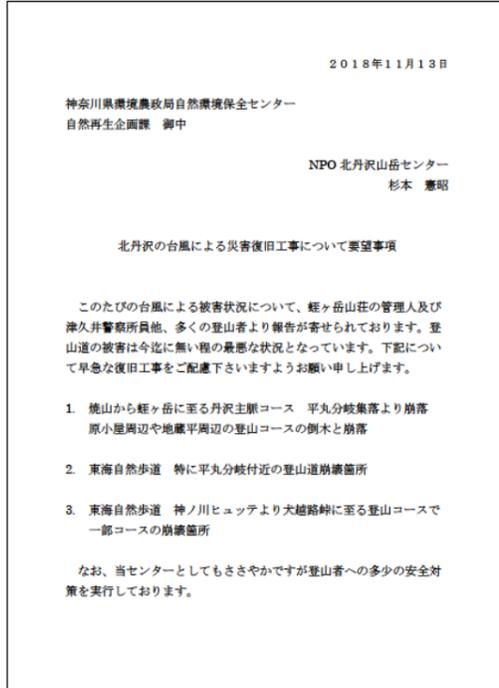


# 蛭ヶ岳山荘通信 第73号

発行日 平成31年1月15日  
発行者 北丹沢山岳センター  
事務局 神奈川県相模原市緑区小淵 1545-1  
TEL042-687-4011 FAX042-687-3980

## 平成30年秋の大型台風にて 丹沢主脈での大規模な倒木発生

昨年秋に接近した大型台風により、丹沢山では多くの被害が発生しました。これによりNPO北丹沢山岳センターでは、11月13日付で神奈川県自然環境保全センター宛に要請書を提出しました。台風被害があった北丹沢の主脈・主稜線・東海自然歩道の倒木等について2018年11月27日神奈川県保全センターより撤去が完了したと報告をいただきました。右側は当センターが提出した要望書です。下の写真は台風後の蛭ヶ岳山頂までの道中の様子です。根こそぎなぎ倒された木々や見事にへし折られた大木がそこかしこに見られました。自然の力は恐ろしいものです。



2018年10月蛭ヶ岳山荘管理人撮影

## 〇年末年始の蛭ヶ岳山荘〇

今年の年末年始は好天に恵まれて大勢の皆様が宿泊されました。大晦日は恒例になった景品争奪の全員参加大じゃんけん大会で大いに盛り上がり、ミニおせち料理でお正月を楽しみました。初日の出もばっちり皆さんで拝むことが出来、その美しい朝日を思い思いにカメラに収めていました。



大晦日恒例の景品争奪じゃんけん大会で大盛り上がり??



霧水の景色は絶景です



心ばかりのミニおせち料理でおもてなし!!



初日の出

## 蛭ヶ岳山荘のオーナー杉本憲昭が語る 丹沢山塊No.1を目指し 新蛭ヶ岳山荘の発足から21年目 通年営業の採算割れ山荘の修繕費負担大 山好きだから経営できる山小屋商売

よく人から蛭ヶ岳山荘は丹沢山塊の最高峰・その役割にて国県の補助金で成り立っているのですか、と訊かれます。神奈川県体育協会は平成2年から始まった蛭ヶ岳山荘の一般募金を体育協会事務局長の木村軍治氏主導で開始し、私共も広く基金集めに東西奔走し多大な協力金を集めました。募金協力者の方々は300名以上となり、その協力者の名簿は山荘に永久保存として掲示しました。その後平成4年11月～5年3月まで神奈川県体育協会主導で、力武氏と北丹沢山岳センターがサポート役になりました。そして蛭ヶ岳山荘は、素人の設計士によるもので、話を聞けば八ヶ岳別荘しか設計の経験が無いとの事で山頂の山小屋としては欠点だらけでした。たとえば①避難小屋が無かった為追加で作る②二重ガラスを二重窓に変更③吹き抜けの屋根を裏張り工事をする等々、この20年間に快適さを追及し整備充実を果たしてきました。しかしながら、ソーラー発電機がとうとう壊れてしまいました。20年以上もすると発電のインバーターが老朽化してしまうためです。入れ替えの工事で600万円近くの巨額を投じて31年の冬を乗り越えます。～次回へ続く～

## 私の蛭ヶ岳山荘との出会い

### 蛭ヶ岳オーナー 杉本 憲昭

昭和30年3月地元の藤野中学校を卒業し、4月に入学したのは都立第2商業高校でした。それまで何のとりえもない、強いて言えば走ることに荷物を背負うことくらいしか能のない私は、1にも2にも山岳部に入部をきめました。そして暇をみつけては山へと足を運ぶようになりました。当時の高校のシャツは臙脂色でしたが、ワイシャツを購入するお金が無い為に母親がちびた父親のワイシャツを染色してくれました。けれどそれがピンク色に染まっており、丹沢へ行く小田急線の車中では当時そんなワイシャツを着る人はなく、大変恥ずかしい思いをしました。昭和31年の9月、ひとり辿り着いた蛭ヶ岳山頂には山荘もまだ無く、草木が風にふかれています。その日の夕暮れ、山で偶然一緒になった登山者の青年ふたりと、その頃丹沢山にアメリカ軍が事故で使用したと思われる大量のカヤの積草の中に潜り込み、3人で一夜を過ごしました。当時はたいへん高価なものであったカメラを彼等のひとりには持ってあり、山頂にて3人で記念写真を撮影しました。そして後日写真を送付して貰い大事に保管していました。その後、昭和40年5月23日に私は妻里子と結婚しました。その10年後、妻の兄が交通事故で亡くなり、遺品整理をしているときに、私が大事に持っている蛭ヶ岳山頂の記念写真と同じものを見つけたのです。そうです、あのときの青年のひとりはまだ見ぬ私の妻の兄だったのです。この写真を発見するまでは、まったく気がつきませんでした。人の縁とは不思議なものだと、今は亡き妻としみじみこの写真を前に語り合いました。



向かって左端が杉本憲昭 右端が義兄  
昭和三十一年九月十二日蛭ヶ岳山頂にて  
想い出の記念写真